**予防接種をする前に必ずお読みください**

**麻しん風しん混合（MR）予防接種について**

麻しんとは・・

麻しんウイルスの感染によって起こります。感染力が強く、飛沫・接触だけではなく空気感染もあり、予防接種を受けないでいると、多くの人がかかり、流行する可能性があります。高熱・せき・めやに･発疹を主症状とします。主な合併症としては、気管支炎・肺炎・中耳炎・脳炎があります。脳炎は約1,000人に1～2人の割合で発生がみられます。

風しんとは・・

　風しんウイルスの飛沫感染によって起こります。潜伏期間は2～3週間です。軽いかぜ症状で始まり、発疹・発熱・後頸部ﾘﾝﾊﾟ節腫脹などが主症状です。そのほか、眼球結膜の充血もみられます。合併症として、関節痛・血小板減少性紫斑病・脳炎などが報告されています。血小板減少性紫斑病は3,000人に1人、脳炎は6,000人に1人くらいです。

　妊婦が妊娠初期に風しんにかかると、先天性風しん症候群と呼ばれる先天性の心臓病・白内障・聴覚障害・発育発達遅延などの障がいを持った児が生まれる可能性が非常に高くなります。

**＊麻しん風しん混合（MR）ワクチンの対象年齢・接種回数は?**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ＜　第　1　期　＞ | ＜　第　2　期　＞ |
| 対象年齢 | 1歳～２歳未満（１歳になったらなるべく早く接種しましょう） | 小学校就学前の1年間 |
| 接種回数 | １回 | 1回 |

**＊麻しん風しん混合（MR）ワクチンについて**

　麻しんウイルス及び風しんウイルスを弱毒化してつくった生ワクチンです。麻しんワクチンも風しんワクチンも１回の接種で95％以上の子どもは、免疫を得ることができますが、つき損ねた場合の用心と、年数がたって免疫が下がってくる目的で、小学校就学前の１年間に２回目の接種が行われるようになりました。予防接種を受けても、お子さんの体質や体調によって完全な免疫が出来ないこともありますが、予防接種を受けておくと、例えかかってもその多くは軽くてすみます。

**＊麻しん風しん混合（MR）ワクチンの副反応について**

　主な副反応としては発熱と発疹です。他に注射部位の発赤・腫脹・硬結などの局所反応、じんましん・ﾘﾝﾊﾟ節腫脹・関節痛・熱性けいれんなどがみられます。重大な副反応としては、ごく稀にｱﾅﾌｨﾗｷｼｰ・急性血小板減少性紫斑病・脳炎・けいれんがあります。気になる症状があるときは、医師にご相談ください。

**＊ワクチン接種後の注意**

①接種後30分間程度はショックやｱﾅﾌｨﾗｷｼｰがおこることがありますので、医師とすぐ連絡がとれるようにしておきましょう。

②接種後に高熱やけいれんなどの異常が出現した場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

③接種後4週間は体調に注意しましょう。また、接種後腫れが目立つ時や機嫌が悪くなった時などは、医師にご相談ください。

④このワクチンの接種後、違う種類のワクチンを接種する場合には、4週間以上の間隔をあける必要があります。

⑤接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は問題ありませんが、接種部位をこすることは止めましょう。

⑥接種当日は激しい運動は避けてください。その他はいつも通りの生活で結構です。

＊「予防接種と子どもの健康」より抜粋